

2012年12月12日

東急不動産株式会社

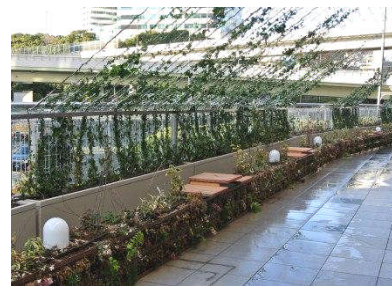
「東急プラザ 赤坂」「東急プラザ 札幌」 東急プラザブランドの一環として、緑化リニューアル工事を実施 ～ 東急不動産グループの目指す「地域と環境が共生した施設づくり」へ ～

東急不動産株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:金指潔)は、「東急プラザ 赤坂」(※1)ならびに「東急プラザ 札幌」において、CO2削減、施設環境改善を目指した緑化リニューアル工事(石勝エクステリア施工)を実施いたしました。

これは、今年4月の「東急プラザ 表参道原宿」(※2)開業と、東急プラザ開業50周年を機に実施する施設ブランドの一環でもあり、それぞれの「街の広場(=プラザ)」として、地域の皆様や来街者へ、憩いの空間を提供すべく東急不動産グループにおいて、環境に関するトータルソリューションを展開する石勝エクステリアの高度な造園技術を活用し、実施したものです。「東急プラザ 表参道原宿」の屋上テラス「おもはらの森」で、櫻や桂などの高木を配した大規模屋上緑化に続き、既存の商業施設においても、東急不動産グループの目指す「地域と環境が共生した施設づくり」の実現に向けた取り組みを、推進してまいります。

「東急プラザ 赤坂」では、2階オープンコリドールにおいて、つる系植物による大面積のグリーンカーテン、植栽一体型のウッドベンチ設置などのリニューアル工事を行ないました。グリーンカーテンと併せ、植栽一体型のウッドベンチには多面利用型プランター(バイオキューブ)を採用し、単位面積当りの緑量の最大化を図り、リニューアル前に比べ緑量は約2倍となり、CO2削減、ヒートアイランド対策と併せ、来館される皆様への憩いの空間創出を創出することにより、地域への貢献を目指しました。

また、来春には2階オープンコリドールの更なるリニューアルを計画しており、継続的な環境改善を進めてまいります。



「東急プラザ 札幌」においてはエントランス内部の壁面に屋内緑化を行ないました。寒冷地でも通年生育が可能な樹種を選定し、植栽による室内環境の改善を図りました。今後は本施設での取り組みの経験を活用し、屋内緑化を含め当社商業施設における緑化を検討のうえ、具現化してまいります。



※1東急不動産が準共有持分50%、アクティビア・プロパティーズ投資法人が50%を保有

※2東急不動産グループ組成SPCが準共有持分25%、アクティビア・プロパティーズ投資法人が75%を保有